

令和5年度 第2回会津若松市子ども・子育て会議 議事録(概要)

日時: 令和5年12月26日(火)午後2時～午後3時45分
 場所: 生涯学習総合センター3階 研修室2

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事

- (1)第3期会津若松市子ども・子育て支援事業計画の策定について
- (2)第3期会津若松市子ども・子育て支援事業計画の策定に向けたニーズ調査について

発言者	質疑内容等
○会長	今日の議事案件につきましては、3件ございますが、まず最初に、(1)第3期会津若松市子ども子育て支援事業計画の策定について、もう1つは(2)第3期会津若松市子ども子育て支援事業計画の策定に向けたニーズ調査についてでございます。両者は関連がございますので、一括して事務局の方からご説明を求めたいと思います。
●事務局	(資料に基づき内容を説明)
○会長	ありがとうございました。ただいま、事務局から資料についての説明がございましたが、委員の方からご質問、ご意見などあれば、ご発言いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。
○委員	資料1-2の2ページの配付数ですが前回は4,347件、今回は4,500件で、前回より増えているんですが、少子化で出生数が減っているのに、ここの件数が増えて大丈夫なのかということと、あと、回収率が未就学児の保護者さんだけが少ないのは、アンケートが厚いからだと思って思います。小さい子どもさんがいる親御さんは、ちょっとこの量は没頭できないので何か工夫があったらいいなと思いました。
○会長	どうでしょうか。
●事務局	まず、資料1の2ページの配付数回答率のところでございますが、平成30年度のニーズ調査のところ、①、4,347件ということでございますが、こちらの4,347件は、未就学児の中で、兄弟がいる場合については、兄、姉を対象に調査するため、結果して4,347件という部分がございます。 令和5年度につきまして、この4,500件という数字ですが、これは兄、弟も含めた兄弟全ての数を含めた全未就学児数となっております。12月1日時点の件数を調べたところ、実際その4,500件のうち、お兄さん、お姉さんだけ抽出しますと、おおむね3,600件程度になってまいります。つまり、平成30年度は4,347件、令和5年度は3,600件程度を想定しているところでございます。 アンケートの量の多さの件でございますが、国の方でモデル調査票というのが示されておりますので、それについては、基本的に聞かなければいけないということとしております。そのほか、市としても、5年に1回の機会というのもございますので、詳しい独自の設問を取り入れております。平成30年度37問、令和5年度37問ということで、なるべく増やさない形に収めたということで、ご理解をいただければと思います。
○委員	はい。わかりました。次に提案なんですけれども、皆さんに参加していただきたいので、未就

	<p>学児の調査票ですが、例えば保育園とか幼稚園行事の時に、調査票を記入する時間などを設けていただけたらいいのかなど。これはあくまでも私の考える提案です。以上です。</p>
○会長	<p>ありがとうございます。他、委員の皆さんは何かございますか。どうぞ。</p>
○委員	<p>私も資料1の2ですけれども、県立高校で調査対象に入っていないのは、会津高校だけなんですけど、ここで会津高校を入れることはできないんですか。</p>
●事務局	<p>はい。平成30年度のことを申し上げますと、ご辞退されましたので、結果して4校になったということでございます。令和5年度につきましては、基本的には、県立の全校にお願いに上がりまして、協力をいただきたいということで考えております。</p>
○委員	<p>わかりました。あとですね、中学校までは学区は問題はないと思うんですが、高校については、会津若松市以外から通学している方もいますが、若松市の方限定で調査をお願いするんですか。</p>
●事務局	<p>先ほどの資料2-3の最後の8ページをご覧くださいと思いますが、県立の高校ですので、市外のお子さんも通っていらっしゃるし、そういった方々にもご回答いただくようなことで想定しておりますし、平成30年度の調査においても、同じようなことで、市内、市外、区分けせずに質問させていただいたところでございます。</p> <p>ですので、8ページの設問を見ていただいて、例えば、問11の5番目ですが、現在会津若松市に住んでおらずということで、市外の方についても回答をいただくことを想定した設問とさせていただきます。</p>
○委員	<p>そうですか。そうすると3ページの、あなたの住んでいる地区はどこですか、については、20番あたりに会津若松市以外というのを設けた方がいいのではないのでしょうか。</p>
●事務局	<p>はい。おっしゃるとおりでございます。そのような形で修正をしたいと思います。</p>
○委員	<p>それから、資料2-1の27ページ、子どもたちから意見を聞くという項目ですが、未就学児の子どもたちはどんな意見を言うのかな、という疑問を持ったというのもあるんですけど、今回の資料を全体的に見せていただいている、市として子どもたちに良い環境を整備していきたいという気持ちが分かり、すごいなと思っていたのですが、同時にちょっと寂しいなと思ったことが1件ありまして、それは保護者の方も子どもたちも、会津若松市の未来ってどんなふうに捉えているんだろう、考えているんだろう、という設問がなかったなあと感じました。これから令和6年度の計画策定時に、令和7年度からの計画が出てくると、前もあったように、基本理念みたいなものも出てくるわけですよ。そうすると、せっかく調査をなさるので、会津若松市についてどんなイメージを持って、どんな市にしたいと思っているのかな、というの、項目にあるといいのにな、という思いを持ち、それから子どもたちの、この設問というのはちょっと難しすぎるので、もっと柔軟に考えられるような設問にいただけたらいいのかな、というように思いました。</p>
○会長	<p>ご意見どうぞ。</p>
●事務局	<p>資料2-1の27ページのところに関してですが、今回新たにお子さんのご意見を作りました</p>

	<p>が、未就学児は、なかなか自分で記載するというのはできない部分もあると思いますので、保護者の方がお子さんから聞き取った上での記載ということで想定しておりますが、委員のお考えですと、やはり、保護者の方が聞き取ってもなかなか難しいからという、そういった思いでいらっしゃると思いますでしょうか。</p>
○委員	<p>そうです。この設問では、ちょっと難しすぎるのではないかな、というのが気がしました。できるならば同時に、保護者の方々にも、会津若松市の未来をどんなふうに描きたいかという設問も入れていただくと、基本理念みたいなのが見えてくるのかな、という気がしました。</p>
●事務局	<p>この27ページについては、子育て環境や支援など、市に求める事業について把握したいという意図をもとに、自由記載ということで欄を設けさせていただいたところでございますが、ここに、未来に対する考えを含めた、もっと広い設問にしたほうがよろしいでしょうか。今のところだと、割と限定的になってしまいつつ、なかなか設問自体について、回答も難しいような中身でもございますので、持ち帰り改めて検討させていただきたいと思っておりますので、ご了承いただければと思います。</p> <p>子どもの意見を聞くというところにつきましては、子ども基本法が施行されたところで、国の方でも今、子どもの意見をどうやって聞いていこうかという悩んでいる自治体に対して、先進事例を示して各自自治体で取り組んでいただくというような方針が示されております。ですので、これから様々な事例を研究しながら、会津若松市も子どもの意見を聞いていくことを実施してまいりたいと思っております。</p> <p>今、委員がおっしゃったように様々な将来像を子どもから聞き取り、回答とするにはなかなか難しいところがありますが、今ほどお話しがあった資料2-1 27ページにつきましては、上段の保護者の意見については、会津若松市の子育ての方向性を示すような設問になっておりますので、お答えしやすいような形で、今後修正してまいりたいと思っております。</p> <p>また、下段のお子様のご意見というところは、素直な意見が何かあればということで、もちろん、0歳児のお子様はお答えするわけはいかないと思っておりますが、年長くらいのお子様であれば、例えばですけども、ゲームセンターが欲しいとか、映画館が欲しいとか、そういった率直な意見があれば、ぜひとも我々もそういった部分を参考にしてまいりたいというふうに思っておりますので、少しでも子どもの意見を見てまいりたいということでお願いいたします。</p>
○会長	<p>ほかどうでしょうか。</p>
○委員	<p>子どもの意見の部分だったんですが、子ども基本法では確かに子どもの意見を求めるようにというところがあるので、こういう設問というのが必要なんだろうと思うのですが、おそらく、保護者の方が設問を見たときに、子どもにどう聞いていいのかわからないかなという気がするんですね。なので、答えを誘導する形としてではなく、例えばこういうことを聞いてみるとかというような具体的な、子どもに対する聞き方の具体例を何個か挙げていただくと、保護者の方もイメージしやすいのかなという気がしましたので、もし可能であればそういった形だといいたいなと思いました。</p>
○会長	<p>ほかの委員の方、どうですか。</p>
○委員	<p>子どもの意見を聞くという部分ですが、意見をまとめていくというのはかなり難しいので、どんなまちだったらいいのかわかぬ、例があれば良いと思っておりますが、ウェブ回答になってきた時には、かなり回答が難しいなと思っております。それと、ウェブにしたとき、設問数のボリュームがあると</p>

	感じました。
○会長	子どもたちの意見を聞くということはやはり難しいと考えますか？
○委員	子どもの意見はなかなか出てこないとは思いますが、実際、こういう内容に対して子どもは、おそらく表現できないし、考えられないと思う。だから、こんなところを利用して楽しかったとか、こんなところを利用したときに何が不満だとか、そういったところが子どもにとっては分かりやすいんじゃないかなと思うんです。だから、子どもの意見は確かに重要だと思いますけれども、結局、子どもの意見イコール親の意見になり兼ねないという部分が、一番懸念しています。
○会長	ありがとうございます。そうしますと、制度的にはこれをやらなきゃいけない方向にあるとなると、先ほどのご指摘があったように、ちょっと工夫をすとか、あるいは何か具体例を出すとか、何かもうちょっと保護者の方が、何かお子さんとのやりとりの中で聞きやすいような、何かヒントとなるようなことを、ここに例示があるといいのかもかもしれませんね。 他の委員の方向かありますか。
○委員	資料1-2の回答率についてですが、特に、未就学児の方の回答率が低いのは、皆さん、設問が多いっていうのを先ほどおっしゃっていたんですけど、ウェブ上で回答するときには、目安の時間、あらかじめ何分くらいかかりますよっていうのを書いていただくと、時間を取れるときに、親御さんは回答できるようになると思います。回答の途中で、保存ができるシステムにさせていただくと、なお良いと思います。
●事務局	そちらにおきましては、検討させていただいて、なるべくそのような形で対応したいと思いません。
○委員	未就学児の調査ですが、郵送による回答とウェブによる回答というのがあるんですが、先ほど、保育園と幼稚園で何か行事のときに回答時間を設けてはどうかという意見が出ましたが、学校経由のように、保育園とか幼稚園を通して、調査をするということはできるのでしょうか。学校に提出してと言われて、出さなきゃいけないと思って、割と皆さん出すと思うんですけども、郵送とかだと、後回しになってしまうような気がします。
○会長	どうでしょうか。
●事務局	委員がおっしゃる通りのことが、結果に現れているなというようなところで、資料1-2の2ページにも記載がございますが、学校経由で回収するとかなり回答率が高いという部分はございます。しかしながら、全ての園の方々に依頼させていただいて、ご協力をいただくという部分が、普段の園の業務の中で難しい部分もあるのかなというところもございますので、市の方から直接郵送させていただいて、返信用封筒で回収させていただくやり方をとっております。この辺は、回収率は当然上げたいわけなんですけど、ご理解をいただければと思っています。
○会長	ほかどうでしょうか。
○委員	小さいお子さんに意見を聞くというところで、自由記述はまずそれは無理な話ですので、親さんが聞き取るにしても、なんて聞いていいかわからないので、それこそアンケート方式で、2つあって、選択にすると、子どもさんも選べるので、その辺の工夫をしたらいいのかなと思いま

	す。
○会長	ありがとうございます。ほかどうでしょうか。
○委員	資料 2-2 の 8 ページの一番下では、問 14 の 4 の言葉の使い方だと思うんですけど、子ども会活動として求める行事というよりは、求める子ども会活動は何ですか、のほうが幅が広い感じがしていいかなというのが1つと、あと、資料 2-3 の問 6 ですが、放課後や学校が休みの日に勉強する場所は主にどこですか、とありますが、勉強しないという子の場合は、これはどんな選択肢になるのかなと。
○会長	2 点ほどございましたが、どうでしょうか。
●事務局	まず、2-3 の 5 ページの問 6 ですが、実はこちらの質問は、平成 30 年度の調査表を作る際に、会議の中で、特に勉強する場所についてを聞いてみてはというご意見があったことを踏まえて、入れた設問でございます。
○委員	意図があったということですね。了解しました。
●事務局	もう1点の資料 2-2 の 14-4 ですが行事よりも活動の方が幅が広く答えていただけるかなと思います。この形で修正をさせていただければと思います。
○会長	ほかどうでしょうか。
○委員	資料 2-1 の問の 20-3 ですね。こども誰でも通園制度ということで明記されているんですが、この説明ではちょっと分からないかなと思います。基本的に今のところ月に 10 時間しか受けられないことにはなっているんですが、その辺もまだ定かでないという部分があるので、まだ制度が定まっていない中、この設問を入れることが果たしていいのか悪いのかということと、この設問がどのくらい必要とされているのかということをお聞きしたいと思います。
○会長	どうでしょうか。
●事務局	他の自治体では、今委員もおっしゃられたとおり、制度設計中ということもございまして、設問に入れていない自治体が殆どで、ごく一部の自治体が、こども大綱、あるいはこども未来戦略を踏まえて設問として入れているところ。本格稼働、本格実施については、令和 8 年度からの予定ということで、先の話でございまして、制度設計中ということもございまして、確かにおっしゃるとおり、悩ましいところではあるなとも思います。
○委員	要するに、子ども・子育て支援事業計画は平成 7 年度からの計画になるわけなので、通園制度については平成 8 年度から実施されるものであるもので、あえてここに入れる必要はないかなというのも一つありますし、あと、全体的なことなんですが、子ども基本法が施行されて、こども大綱というのを国で準備しているところで、こども大綱そのものについては、県とか市で、また独自に国の意向を受けて策定をしないといけないと定められているところなんですが、それをもとにして、この子育ての計画を策定していくという流れだということをお聞きしているんですけど、その辺は、行政的にはどういうふうに考えていますか。

○会長	結構大事なご質問ですので、どうでしょうか。
●事務局	まず前半の設問をどうするかの部分なのですが、設問を入れたのは、確かに未来の話ではありますし、しかも制度自体がしっかり固まっていないというところで聞くのは時期尚早だという部分もありつつ、一定程度利用の意向だけでも把握したいというふうなところで入れたところでございますが、例えばですが、設問の中で、1週あたり何日とか、割と具体的に聞いておまして、一方で、月一定時間までの利用可能枠というところで、一定時間というのも、先ほど10時間の想定だということで私も申し上げましたけれども、それでも変わる可能性が大いにあるという部分ですと、例えばですが、具体的な数字の部分を除く形にして、利用したい、利用したいと思わないというこの2択だけでも聞くというのはいかがでしょうか。ここだけでも把握をさせていただきたいなというところなんです。
○委員	ニーズがどのくらいあるのかというのは、把握しておくのは良いと思います。ニーズが多いというのであれば、やっぱり市民の声に答えていかなければいけないというのはあると思うので、このタイミングで聞くこと自体は別に問題がないのではという気もしますし、逆に国が考えている制度と、実際のニーズがどのくらい乖離しているのかというのも、意外と分かるのかなというような気がするので、それを踏まえて、例えばいろんな自治体がこういう調査をやることによって、国が考えている制度の部分と意外と齟齬があるよみたいなデータが出てくるなら、国の方に対して、国が考えている制度と、実際必要とされている制度の違いがこれだけありますよというように、材料にもなるのかなという感じはするので、この部分は設問として残しておいても、また然るべきかなというように気も私はしました。
○会長	ありがとうございます。次のご意見どうぞ。
○委員	私も今のご意見に賛成で、私自分も子どもが小さい時に保育園に預けたいと思っていましたので、そういうのができたことはとても嬉しいと思っています。今回調査した人が、令和8年にはもう自分の子どもは該当しないかもしれないけれど、今の現状でどれくらい預けたいかを聞くのはいいんじゃないかなと思います。
○会長	ありがとうございました。次の方どうぞ。
○委員	今のことに関してなんですけど、これは有償なんですか、無償なんですか。
●事務局	無償で制度自体は始まりますが、いずれ有償になるような話があります。国の方のアナウンスとしては、今地域子育て支援事業で一時預かり事業ということでやっておりますけれども、こういった部分の利用料と足並みを揃えるようなイメージで今検討しているというふうに聞いておりますので、将来的には、一定の負担をしていただくような形にはなるんじゃないかと考えます。
○会長	分かりました。次どうぞ。
○委員	私も調査をしてもいいんじゃないかなという意見なんですけれども、預けたい方はいるけれども、その受け皿がないという、保育現場がものすごく大変なんですという報道をよく目にするんですけれども、今から調査しておいて、会津若松市としては、このぐら이의支援策が必要なんだな、そのためにどういう政策なり、それから保育園さんに対する人的支援だとかを考えてお

	<p>くということもできるので、実態把握としては私も残しておいてもいいのかなという思いはあります。</p>
●事務局	<p>先ほど利用したい、利用したいとも思わない、この2択だけでも残した状態でとお話しさせていただきましたが、今制度が固まっていない中ではありますけれども、利用したいところの具体的な数字についても、どこまで利用意向として残した方がいいのか、あるいはここは削るべきなのかどうかとか、その辺はもうちょっとご意見をいただければと思ひまして。</p>
○委員	<p>制度上は決まっていないかもしれないですけど、実際若松市内のニーズはどうなのという話になってくると、まとめておいたほうがいいのかと思うので、あっても構わないとは思ひます。なおかつ、今、子育ても就労もね、多様化されているし、その多様化の中で若松市独自に何をやるのかというのは、国イコールじゃなくても、やっぱり考えていく素材としてあってもいいのかなと。</p>
●事務局	<p>はい、分かりました。</p>
○会長	<p>ほかどうですか。今ちょっと個別具体的な中身に入りましたが、この点も含めて、ニーズ調査ということですから、ある程度方向性を探るということで先ほどのご指摘を求めて、あるいは現場での意見を求めてですね、まずはちょっとこういう形でやってみるということでもいいのかもかもしれませんね。</p>
●事務局	<p>※印のところの解説だけですと、どういった制度かというのもわからない部分と、あとどういった数字を書いていいかわからない部分がある中で、それだから自由に書かれてくると思うんですが、自由な数字自体もひとつのニーズとして把握するというのは重要なところだと考えております。ですから、この数字の部分は残すような形でよろしかったでしょうか。</p>
○委員	<p>はい。</p>
○会長	<p>あとほか、どうでしょうか。</p>
●事務局	<p>ただ今の件で、こども誰でも通園制度が、皆さんのお話のようにまだ制度的に確立はされていないという部分ではありますが、こども誰でも通園制度を使いますかではなくて、例えばこういった制度が検討されていますが、実際に就労の要件を除いた形での保育、その際に何時間程度希望しますかなど、聞き方の工夫はしていきたいと思ひますので、今後検討させていただきます。</p>
○会長	<p>よろしくお願ひします。あとほかどうでしょうか。</p>
○委員	<p>このニーズ調査のなかで子ども会についてのアンケートを取っていただくということについて、大変感謝しております。今、地域から子ども会というものがなくなっております。子どもたちに、子ども会は何なのかと聞いても、おそらく半分の子どもは分からないと思ひます。お祭りや提灯行列の時期になると、お母さん方が子ども会に入っていないのですが、参加させてくださいという、話はあります。子どもたちは土日は、部活が多かったり、それから子ども会に入っても、役員の方がなかなかいらっしやらない。子ども会についての意見は一番私たちの望んでいるところであり、アンケートの結果について、楽しみにしています。</p>

○会長	ご意見ありがとうございます。ほかどうでしょうか。どうぞ。
○委員	ちょっと話が違うかもしれませんが、県立病院跡地については、いろいろニーズ調査をしながら、子どもの拠点を作っていくということなんだろうと思いますが、子育てのアンケートは、それに反映、リンクするようなものになっていくことがあるんですか。
●事務局	はい、実は、前回平成30年度の調査につきましては、そもそも最初は、子どもの遊び場や居場所というような、設問自体はなかったんですが、令和9年度予定の県立病院跡地の子ども育て機能をメインとした施設を考えるにあたって、市として聞くべきだろうということで、オリジナル設問として入れさせていただいたという経過もございまして、それをベースに様々な議論を経まして、今現在、基本計画の策定まで、という状況でございます。基本計画自体は定まっておりますが、まだ事業者自体は決まっておりませんので、来年において、事業者の方からプロポーザルという形で様々な提案が出る形になりますけれども、その前段において、このニーズ調査の結果というのは、一定程度、利活用できるのかなというふうに考えております。
○会長	ほか、どうですか。
○委員	資料2-1のことですが、このボリュームについて、私も未就学児の子どもがいますので、私の意見としては、子どものことと親のこと、二部構成がひとまとめになっているということで、このボリュームになっているかと思えます。そのために、回答率の低下というのも招いているかと思えます。この回答率を上昇させるに当たってなんですけれども、例えば、一つの案としてですが、回答していただいた方に何か特典を設けるとか、例えば、会津若松市は歴史豊かな町ですから、天守閣や御薬園などに無料招待をするなど、そういったことで子どもたちと親が共有できるような、何か回答したことによって、特典として、親子で歴史的なものを学べるようなものもあれば、少しは回答率は上がるのではないかと思いました。
○会長	今ご意見がありました、事務局の方お願いします。
●事務局	<p>調査内容につきまして、皆さんのご意見をいただきながら、市の方で調査票の作成まではさせていただくことで、今進めておりまして、その後、実際その調査票を製本したり、調査票を回収して集計していくことは、委託で進めております。</p> <p>現在、委託先事業者の方との契約を既に済ませてあるわけですが、その仕様の中で今ほどお話いただいたような内容がない部分もございまして、今回につきましては、なかなか厳しいかなとは思いますが、確におっしゃられたとおり、こういったプレミアムという特典があるという部分は、回収率向上には寄与する部分かなとは思いますが、特に未就学児のお子さんの保護者の方からとすると、非常に嬉しい部分かなと思えます。</p> <p>次回の5年後のニーズ調査の際に参考にさせていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
○会長	<p>以上、このような意見があったということで、ご検討いただければと思います。</p> <p>今、委託という話が出ましたが、私は会津若松市情報公開及び個人情報保護審査会の会長もやっているんですが、いわゆる個人情報を含めた様々なデータの宝庫でもあるわけですね。そうなりますと、その委託事業者とどのような契約になっているのか、今回のデータについて自分たちが見れるのかどうか、こういう集めた結果の集計のデータ、そうしたものに対して市民、</p>

<p>●事務局</p> <p>○会長</p> <p>●事務局</p> <p>○会長</p> <p>●事務局</p>	<p>あるいはこちらのメンバーも含めて、どのような形で、どの段階で見れるのかなど、個人情報の問題など、どのように考えられているのか、ちょっとお聞きしたいと思います。</p> <p>まず個人情報についてでありますけれども、当然ながら外部には一切出ない形、個人が特定されない形での公表ということで、契約をさせていただいていますし、外部の市民の方々も含めた皆様に対しても、そのような形で、進めていきたいというように考えております。前回もそのような形で実施いたしました。</p> <p>集計データですが、前回もそうなのですが、結構な厚みの調査票を作る形になろうかと思えます。グラフなどを掲載した200ページくらいの報告書を作成いたしまして、市のホームページ、あるいは冊子化したもので、市民の方々に公開させていただくということで、予定しております。</p> <p>スケジュールについてですが、おそらくですが、2月からの調査の開始、3週間での調査をして、それから数千件のデータを集めて、入力等の作業もありまして、報告書の内容を公開できるのは、年度をまたいだ時期になろうかなと思えます。</p> <p>数値も含めたデータの解析はすぐできると思うんですが、この記述部分はどういうふうに分析されるのか、そこは委託業者が報告書のような形で作られるんですか。</p> <p>はい。まず、自由記述の欄ですが、こちらにつきましては、すべてデータベース化いたしまして、その後、例えばですけど、ここは子どもの居場所を求める項目であるとか、あるいは、市に対してこういった子育て支援をを求める項目であるとか、出てくる自由記述、意見の内容によりますが、一定程度、カテゴリー化した形で、見やすいような形で、最終的に報告書にまとめるようなことで、我々と委託業者の方で一緒になって進めてまいりたいと考えています。</p> <p>確かにそうです。会長の立場を離れて、専門的な立場でいうと、データ解析とか分析の解析というのは、業者がどのような解析の手法を使うのか、それを市の皆さんもちゃんと把握されているのか、その辺のところは、場合によってはいかようにも使われるし、いかようにも結果が出てくるんですね。</p> <p>実は、今日のデータというのは、実は、他の民間の事業者から見ると、非常にビジネスの宝庫なんです。個人情報ですが、分断した情報を集めたり、集約化することによって、人の特定ができてきたりすることがあるんですね。それと、やっぱり一番大事なのは、市民の皆さんからこういうデータを取るわけですから、情報開示、情報公開をしていくことが非常に大事なことでないかと思うんですね。アンケートを書いたけど、報告書を見たら、分厚い。ホームページを見たら、どこを見たらいいかわからない。ということでは困るものですから、市民の皆さんに対する、しっかりとした情報の開示、公開、そういったことをしっかりと考えて行かれたらよろしいのではないのかなと思っております。最後の意見は、個人的な意見です。</p> <p>皆様、ご質問何かあれば。</p> <p>最終的に、アンケートの結果について分析をしまして、第3期子ども・子育て支援計画事業について、来年度、皆様にご審議いただくための基礎資料となります。そのためには、国が求める項目を最低限調べないと、会津若松市でどのくらい保育のニーズがあって、どれだけ用意しなければいけないかというのを、このニーズ調査をしないと、分からないということがあります。</p> <p>そこで、資料2-1の、右から2番目、市の独自の調査項目なんですけども、それ以外は、国から指定された項目ですので、これが多数あるわけですから、どうしても、項目が多くなってしまいうところなんです。確かに回収率というところでは、ほかから比べれば低いというところでもあります。</p>
---	---

	<p>が、通常の統計のサンプル数としては、十分確保されているというところで、その点をご理解をいただきたいと思います。</p> <p>また、前回のニーズ調査の結果につきましては、今も市のホームページにて1つのPDFで掲載されていますが、173 ページに渡っております。その分についても、一定程度、業者のプロセスもありますし、国から示される計算式もありますので、そういったところも、きちんと使いながら、しっかり対応して行きたいと思います。</p>
○会長	<p>ありがとうございました。ほか、どうぞ。</p>
●事務局	<p>先ほど、ホームページといった部分のございでしたが、今回のニーズ調査等につきましても、今後、ホームページで分かりやすく公表していきたいと思いますが、皆さんにお知らせということで、先週以降、市のホームページに子育てポータルサイトを新たに作りまして、子育て支援関係、今まで各事業がバラバラになっていたのですが、そこにある程度、まとめたような形で、皆さんに見やすいようなポータルサイトを立ち上げましたので、そちらのほうもご覧いただければと思います。よろしくお願ひします。</p>
○会長	<p>そういうことであれば、ニーズ調査を郵送する未就学を含めた保護者の方に、そういった内容の文書も入れておくと、回答しながらホームページを見たりとか、いろいろと勉強にもなるんじゃないかなと、ぜひご検討いただきたいと思います。ほかどうでしょうか。</p>
○委員	<p>先ほどの子どもたちの自由記述ですが、小学生くらいになりますと、どんな市になってほしいとか、こんなことだったらうれしいなということが記述できるようになるので、未就学児ではあまり難しすぎると思うんですが、子どもたちの発達段階に応じて、書いていただきたいということと、中学生、高校生も、会津若松市についてどんなことを考えているんだろうと、すごく知りたいなと思うので、居場所だけじゃなくて、もっと広い意味で、会津若松市の未来を子どもたちがどのように考えているのという視点で、ちょっと入れていただけるとありがたいかなと思います。それから先ほど自由記述の箇所について、皆さんいろいろご意見いただいているのですが、私もぜひともこの意見というのは大切に取り扱ってほしいなと。結構厳しめの意見の中に、市の未来にとってというか、これからの市の行政にとって大切だというのがありますので、そういう意見もやはり、全て載せていただくといいんじゃないかなと思います。</p>
○会長	<p>ありがとうございました。</p>
●事務局	<p>今の最後の自由記述の部分ですが、前回調査のときには、本当にものすごい件数が出てまいりました。それを全てデータベース化したというところでございまして、今回につきましても、そのようにさせていただきたいと思ひますし、先ほど申し上げましたとおり、ただそれをベタ打ちして終わりではなくて、そこにいろんな視点があると思ひますので、カテゴリー化するなりですね、どういった課題が抽出できるのか、というような部分も留意しながらやっていきたいと思ひしておりますので、よろしくお願ひします。</p>
○委員	<p>ありがとうございます。</p>
○会長	<p>その記述が実は財産になるんですよ。先ほど言われたように、実は使われているキーワードによって、どういう方向性のことを考えているのか、学習の発達段階と使われている言葉、いろんな言葉を組み合わせることによって、この年代の子どもがどういう方向性のことを考えている</p>

	<p>のか、これが見えるんですね。書かれた文章をどんなどういう形で公開するのか、それを見るのも私たちも、こういう子どもたちがこんな考え方を持っているんだとか、知ることも非常に大事だし、とてもそういったものは次につながってくるという前提で、本当に貴重な財産だという視点で、ぜひデータを把握しながら、その活用ということも考えていただきたいと思うんですね。ほかどうでしょうか。</p>
○委員	<p>支援が必要な親さんも実際にいらっしやって、ニーズ調査の項目を見るだけでもう答えられない親さんもいらっしやと思うんですね。相談員さんなどのサポート体制があれば、障がいをお持ちの親さんたちも回答ができ、回答率が少し上がるのかなと思ったので、そんな形の体制があるといいなとちょっと思いました。</p>
○会長	<p>ありがとうございます。</p>
●事務局	<p>例えばですが、調査票をお渡しさせていただきわけですけれども、なかなか書くことが難しいなど支援が必要な場合に、市役所のこども保育課の方に来ていただいて、サポートというもできるというふうには思っております。</p>
○会長	<p>はい、それに限らず、今の指摘を踏まえて、ちょっと工夫を考えていただきたいと思います。それとあと、今日この会議では、委員の皆様のご指摘もありましたし、また場合によってはもっと時間が経つと指摘が出てくるかもしれませんので、今後どのような形で事務局に伝えれば良いでしょうか。</p>
●事務局	<p>遅くとも2月には調査を始めさせていただきたいと考えておりますが、今日出されなかった意見もおありかと思しますので、改めてこちらの方から、記入するシートを送らせていただき、皆様の方で今日お出し出来なかった意見を書いていただいて集約させていただきたいと思します。</p>
○会長	<p>ではそのようにご回答するような形で、ぜひ意見を反映させていただければと。その後は具体的にどういう形でフィックスさせていくかは、また私と事務局の方で詰めてまいります。何かご意見ありますか。どうぞ。</p>
○委員	<p>ちょっと気づいたのですが、資料2-1と2-2のところは、令和5年度のニーズ調査(案)になっておりますが、資料2-3のところになると、「放課後の居場所づくり」に関するアンケートについて、とありますが、扱い方が違うんですか。</p>
●事務局	<p>すみません。そういった意図はございませんで、資料2-3も令和5年度のニーズ調査(案)ということで、改めさせていただきたいと思します。</p>
○委員	<p>これも同じニーズ調査と捉えていいんですね。</p>
●事務局	<p>はい、そういうことです。</p>
○会長	<p>それではどうでしょうか。あとは今のご指摘もそうですが、修正などいくつかありますので、ぜひ整合性をとっていただければと思します。 あとはぜひですね、市の職員の方たちでも、子育てされている方たちにもいるわけですから、</p>

	委員の方のようなプロの方たちが調査票を見るだけじゃなくて、子育て中の職員にも中身を見ていただきながら、違和感やそうしたものも含めて確認することも検討していただきたいなど思っています。議事案件としては、本日この最初の2つ、事業計画策定とニーズ調査についてであります。最後に何かあれば、ご指摘いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。なければ、次に進みます。
--	--

(3)その他

○会長	先ほど言いましたように、本件につきましては、改めて事務局の方から、意見等についての案内がございますので、またその時、いろいろご指摘いただければと思います。 議事案件の(3)その他について、事務局の方からご説明いただきたいと思います。
●事務局	はい。議題の(3)その他ということで、今後のスケジュールになります。改めてありますが、来年、早ければ2月にニーズ調査の実施ということで、行ってまいりたいと思っております。ニーズ調査の回答が得られ次第、随時になりますが、2月下旬から、ニーズ調査結果の集約と分析ということで、行ってまいりたいと考えております。今後の子ども・子育て会議についてありますが、今年度につきましては、今回で最終ということになります。次年度の開催につきましては、ニーズ調査の結果がまとまり次第、改めて報告させていただきたいと考えております。以上でございます。
○会長	ありがとうございます。今、事務局のほうから今後のスケジュールも含めて、ご説明がりましたが、皆さんから何かありませんか。よろしいですか。なければ、本日の議事案件の(3)その他についても、終了させていただきたいと思います。 それでは本日の議事案件はすべてを終了いたしました。本会議の円滑な運営にご協力いただきいただきまして、どうもありがとうございました。また今後とも引き続きよろしくお願いいたします。

4 その他

5 閉会